名手たちの交響楽団ニューイヤーコンサート

ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ

Japan Virtuoso Symphony Orchestra Concert

第35回関西公演

日本を代表するオーケストラのコンサートマスターや首席奏者など
トップクラスの演奏家による全日本選抜の“オールスター・オーケストラ”

ヴァイオリニスト「服部百音」をゲストに迎え

2027年新春、ザ・シンフォニーホールに登場！

©Yuji Hori

©Rowland Kirishima

Program

三枝成彰：交響組曲「Zガンダム」より Zガンダムのテーマ
K.M.シマノフスキ：ヴァイオリン協奏曲 第2番 Op.61（Vn. 服部百音）
P.I.チャイコフスキー：交響曲 第4番 ヘ短調 Op.36

［管弦楽］ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ　企画構成／三枝成彰、大友直人

※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。

2027 1/4［月］開演4:30PM（開場3:30PM）
プレトーク（三枝 成彰）4:00PM

S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 C席1,000円

ザ・シンフォニーホール
〒531-8501 大阪府大阪市北区大淀南2丁目3-3 JR大阪環状線 福島駅 徒歩約7分／JR東西線 新福島駅 徒歩約10分

発売日／ザ・シンフォニーホール会員（Sinfonia）先行予約 9/26（土）・一般発売 9/27（日）
チケット取り扱い／〈ご予約・お問い合わせ〉●ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333（火曜定休）https://www.symphonyhall.jp/
●e+（イープラス）https://eplus.jp/symphonyhall（パソコン・携帯）
●ローソンチケット https://l-tike.com/symphonyhall（Lコード：53589）
●チケットぴあ https://w.pia.jp/t/symphonyhall/（Pコード：333-928）

主催・お問い合わせ／株式会社メイ・コーポレーション 03-3584-1951（平日10:00～18:00）

協力／ザ・シンフォニーホール

協賛／ダイキン工業株式会社、阪急電鉄株式会社、株式会社三井住友銀行、SMBC日興証券株式会社、名古屋宗次ホール、株式会社アシックス、椿本興業株式会社、株式会社竹中工務店、大阪ガス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、岩谷産業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社ソネック、株式会社きんでん 他

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

日本最高の演奏家たちによる夢のオールスター・オーケストラ

日本の各オーケストラから、コンサートマスターや首席奏者などトップクラスの名手＝「ヴィルトゥオーゾ」たちが集結したら、果たしてどんなオーケストラになるだろうか。作曲家 三枝成彰と指揮者 大友直人が企画構成した"日本最高の演奏家たちによる夢のオールスター・オーケストラ"。
圧倒的な技と情熱が交差する、唯一無二の交響楽団「ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ」が、35年の時を経て1993年大阪初公演のステージ「ザ・シンフォニーホール」に帰って来ます。ゲストは、今、もっとも注目を集めるヴァイオリニスト「服部百音」。華やかに新春を彩るスペシャルなニューイヤーコンサートをお楽しみください。

大友 直人［指揮］ Naoto Otomo

桐朋学園在学中に22才でNHK交響楽団を指揮してデビュー以来、日本の音楽界をリードし続けている日本を代表する指揮者のひとり。これまでに日本フィル正指揮者、大阪フィル専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督を歴任。現在東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督、瀬戸フィルハーモニー交響楽団ミュージックアドバイザー。東京文化会館の初代音楽監督として東京音楽コンクールの基盤を築く。また、高崎芸術劇場の初代芸術監督を務め、数々の自主制作の企画を成功に導いた。海外オーケストラからも度々客演として招かれ、ハワイ響においては旧ホノルル響時代から20年以上にわたり定期的に招かれている。またフィルハーモニア管弦楽団の日本ツアーの指揮者も務めた。幅広いレパートリーでも知られ、その中でも日本を代表する邦人作曲家作品の初演やジェームス・マクミラン作品及びジョン・アダムスのオペラ日本初演等は代表的に挙げられる。小澤征爾、森正、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘らに学ぶ。NHK交響楽団指揮研究員時代にはサヴァリッシュ、ヴァント、ライトナー、ブロムシュテット、シュタインらに学び、タングルウッドミュージックセンターではバーンスタイン、プレヴィン、マルケヴィチからも指導を受けた。大阪芸術大学教授、東邦音楽大学特任教授。京都市立芸術大学、洗足学園大学各客員教授。

服部 百音［ヴァイオリン］ Moné Hattori

1999年生まれ。5歳よりヴァイオリンを始め、8歳でオーケストラと共演。10歳以降、様々な国際コンクールで優勝やグランプリを受賞し、11歳でミラノにてリサイタル・デビューを果たす。以降、国内外で本格的な演奏活動を展開。これまでに、新日鉄住金音楽賞、岩谷時子賞、アリオン桐朋音楽賞、服部真二音楽賞、ホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞、ブルガリ アウローラ アワードを受賞。ウラディミール・アシュケナージとスイスおよびイタリア公演で共演するほか、アラム・ハチャトリアン音楽祭、トランス・シベリアン音楽祭、トルコでの国連80周年コンサートなどで、国際的な舞台で演奏を重ねてきた。国内では、N響、都響、読響、東京フィル、東響、日本フィル、新日本フィルなどの主要オーケストラと多数共演。2021年にはパーヴォ・ヤルヴィ指揮NHK交響楽団、翌2022年にはドイツ・カンマーフィルと共演し、大好評を博した。2022年より、自ら音楽家を招く企画コンサート「STORIA」を主宰。2024年には井上道義指揮NHK交響楽団とショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲1番・2番を一夜で演奏する世界初の企画を実現し、歴史的名演と称された。日本で演奏機会の少ない名曲の紹介にも力を注ぎ、ファジル・サイのソナタをはじめとする現代作品の日本初演などにも意欲的に取り組んでいる。17歳で録音したデビューCD《ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲第1番、ワックスマン：カルメン幻想曲》は、『レコード芸術』誌で特選盤に選ばれるなど高い評価を受けた。桐朋学園大学院修了。使用楽器は日本ヴァイオリンより特別貸与されたグァルネリ・デル・ジェス。
公式サイト：mone-violin.com

三枝 成彰［プレトーク］ Shigeaki Saegusa

作曲家／日本作編曲家協会理事長／日本交響楽振興財団理事／渡辺音楽文化フォーラム理事／服部真二 文化・スポーツ財団評議員
東京音楽大学名誉教授

1942年生まれ。作曲家。東京音楽大学名誉教授。2006年、紫綬褒章受章。2017年、旭日小綬章受章。2020年、文化功労者顕彰を受けた。東京藝大在学中に安宅賞受賞。1963年、「木管五重奏曲」で音楽之友社作曲懸賞。1967年、「ヴァリアツィオーニ13」で内閣主催「21世紀の日本」作曲部門優秀賞と国務大臣賞受賞。1974年、「UTA」で第29回芸術祭ラジオ部門優秀賞受賞。1981年、「ラジエーション・ミサ」でレコード・アカデミー賞受賞。1988年、「川よ　とわに美しく」で第36回芸術祭優秀賞ラジオ部門優秀賞受賞、「二十四の瞳」「光る女」で日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。1989年、「椿姫」「優駿 ORACION」で日本アカデミー賞最優秀音楽賞受賞、「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」で日本レコード協会アニメーション部門ゴールドディスク大賞、アジア・パシフィック・フィルム・フェスティバル最優秀音楽賞受賞、イタリア・サレルノ音楽祭でチェザーレ・ザヴァッティーニ賞受賞。2007年、「アビアント」で橘秋子賞受賞。2008年、日本人初のプッチーニ国際賞受賞。2011年、渡辺晋賞受賞。代表作にオペラ「忠臣蔵」「Jr.バタフライ」「KAMIKAZE―神風―」「狂おしき真夏の一日」、男声合唱と管弦楽のための「最後の手紙」「愛の手紙～恋文」。2022年、辻井伸行氏委嘱の新作「ピアノ協奏曲」と混声合唱版「最後の手紙」を初演。2023年、男声合唱と管弦楽のための新作「愛の手紙～恋文」を初演。現在、服部百音氏委嘱の新作「ヴァイオリン協奏曲」の作曲に取り組んでいる。2000年に兵庫県文化賞を受賞、2006年には兵庫県功労者表彰を受ける。

協賛

株式会社アシックス
有馬温泉 銀水荘 兆楽
岩谷産業株式会社
上野製薬株式会社
SMBC日興証券株式会社
大阪ガス株式会社
株式会社きんでん
佐和鍍金工業株式会社
サントリーホールディングス株式会社
角南合名会社
株式会社ソネック
ダイキン工業株式会社
大和ハウス工業株式会社
株式会社竹中工務店
辰馬本家酒造株式会社
椿本興業株式会社
名古屋宗次ホール
日本管財ホールディングス株式会社
阪急電鉄株式会社
古野電気株式会社
株式会社三井住友銀行
三ツ星ベルト株式会社
株式会社ロック・フィールド
和田興産株式会社

（五十音順）